



▲本町とさつま町の美味しいものが集まったコラボマルシェ

## 博多駅で町の特産品をPR 本町とさつま町が共同マルシェ

1月17日（土）・18日（日）、コラボマルシェ「薩摩のさつま&こうさんもん」が福岡県の博多エキナカ・マイング広場で開催されました。

特産品などを県内外にPRすることを目的に、本町とさつま町が共催。出展ブースには特産品ブランド「こうさんもん」をはじめ、本町産の新鮮な野菜などが並び、会場は多くの来場者でにぎわいました。



▲賞状を受け取った甲斐町長（中央左）と阿部悠子一級建築士（同右）

## 後世に残る優れた建物表彰 「MEBKAS」にアートポリス推進賞

町起業等応援施設「MEBKAS」が第29回くまもとアートポリス推進賞を受賞しました。

同賞は、建築文化に対する関心を高めるため、県内各地の優れた建築物等を県が表彰するもの。1月28日（水）に県庁であった表彰式で、建築主の甲斐町長と、設計者の阿部悠子設計アトリエの阿部悠子一級建築士に賞状が手渡されました。



▲奥山和弘・県道路都市局長（右）に要望書を手渡す甲斐高士会長

## 田口橋歩道橋の新規設置要望 小川御船間道路整備促進期成会が県に

本町と宇城市、御船町の沿線3自治体でつくる「小川御船間道路整備促進期成会」は1月27日（火）、県庁で要望活動を実施し、甲斐高士会長が奥山和弘・県道路都市局長に要望書を手渡しました。宇城市～御船町の区間は通行量も多く、重要な路線ながら未整備区間も多いため、同期成会は早急な整備を要望。本町からは、田口橋の新規歩道橋設置の要望を行いました。



▲木村知事と郡内の町長が登壇したパネルディスカッション

## 上益城の未来を見据えて 地域未来創造会議（上益城地域）

2月4日（水）嘉島町民会館で令和7年度地域未来創造会議（上益城地域）が開催されました。

県知事と市町村長が直接対話し、地域の未来像を描きながら県と市町村の連携を強化することを目的として県が主催。甲斐町長や木村知事、上益城地域の町長が登壇し、「上益城地域の広域的なスポーツ振興」をメインテーマとして意見交換を行いました。

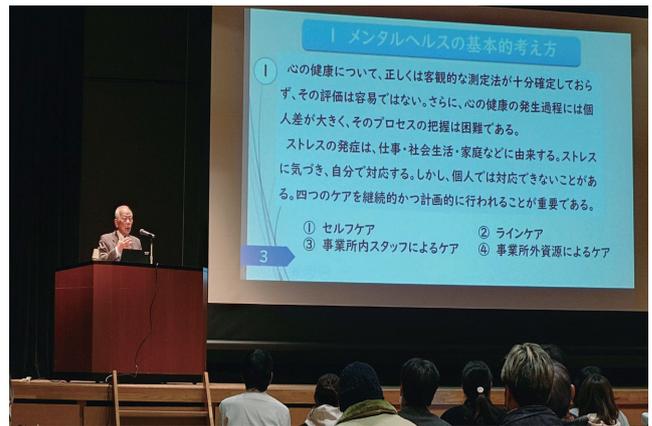
## 子どもも大人も心のケアが重要 合同講演会を開催

2月9日（月）、町生涯学習センター・ホールで「令和7年度甲佐町PTA連絡協議会・甲佐町青少年健全育成町民会議合同講演会」が開催されました。

同講演会は、町PTAと同会議会員が、子どもや青少年の健全育成のための理解を深め、よりよい活動を促進していくことを目的として開催。関係者約50人が参加しました。

日本産業カウンセラー協会の久米廣昌さんが「子どもを育むための大人の心の健康～メンタルヘルスとストレス～」という演題で講演。目には見えない心の健康をどう保つか、さまざまな要因に由来するストレスに自らが気づき、どのように対処するのかなどを分かりやすく説明しました。

参加者からは「心の健康づくりには、自分でストレスに気づき対応していくことが大切だと思いました。ストレスをためないように自分自身も子どもたちにも対応していきたいと思います」などの感想がありました。



▲子どもや大人のメンタルヘルスについて説明する講師の久米さん



▲画面越しに講師からスマホの便利なツールやアプリの操作を学ぶ受講者

## ツールを学び暮らしを豊かに 町公民館主催講座「オンラインスマホ教室」

1月28日～30日、町生涯学習センターで町公民館主催講座「オンラインスマホ教室」が開催されました。

講師のソフトバンク(株)のスマホアドバイザーが、オンライン越しにスマートフォンを使った暮らしに役立つアプリや行政サービスの使い方を説明。受講者は、自身のスマホを使って生成AIやマイナーポータルの便利な使い方を学びました。



▲5区・坂下湧信選手（左）から6区・児悠月選手へタスキリレー

## 郡市代表の猛者が駆け抜ける 上益城郡チームに本町の9人エントリー

第52回郡市対抗熊日駅伝が2月8日（日）、天草市陸上競技場スタート、熊本市上通アーケード前フィニッシュの18区間100.5kmであり、本町の4選手が出走した上益城郡チームは総合10位に入りました。

大会には19郡市が出場し、本町から9人（中学生2人、高校生6人、一般1人）がエントリー。15区で梅本裕也選手（和田内区）が区間5位の力走を見せました。